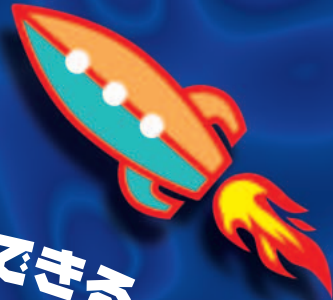


+ 短期集中連載 +

フロントページ98ならできる



アクティブ チャンネル化 計画

第1回

お手軽ウェブサイト作成法

藪
暁
彦

ホームページ編集ソフトは数あるが、ウェブサイトの作成や管理までできるソフトとなるとごく少数に限られる。マイクロソフト社の「フロントページ98」は、その数少ないソフトの1つ。これ1本で、ページ編集から更新までウェブサイト管理に必要な作業をすべてまかなえる。そればかりか通常のウェブページだけでなく、話題のアクティブチャンネル対応のページまで作ることができるのだ。今月から3回にわたり、このフロントページ98を使った最新ウェブサイト構築法を紹介していこう。



+ 準備編 +

WEB MASTER

ウェブマスターの強力なパートナー

これがフロントページ98の実力だ!



CD-ROM収録先
☐ Trial Win
Fp98beta

マイクロソフトフロントページ98は今年末に発売が予定されているが、本誌を読んで1日も早くこのすごいソフトを試してみたいという人のためにベータ使用版をCD-ROMに収録した。「今すぐアクティブチャンネルを作ろう」と言いたいところだが、まずは、前バージョンからさらに進化したフロントページ98の実力を見てみよう。

最新のコンテンツが簡単に作れる

どうせホームページを作るなら、アクセスしてくれた人に「これはすごいぞ、面白い」と言われるようなものを作りたい。しかも、できるだけ簡単に。そんな虫のいい話、あるはずがない。凝ったページを作ろうとしたら手間もかかるし、それ相応の知識や技術が必要だ。ずっとそう思っていたが、どうやらとんだ認識不足だった。フロントページ98を使えば、オーソドックスなページはもちろん、動きやインタラクティブな操作をともなうダイナミックなページも作れるのだ。しかも、プログラミングやHTMLの知識はいっさい不要。

8月にベータ版が公開されたフロントページ98は、前バージョンの弱点を克服。表作成やフレーム設定の操作性が見違えるほどよくなり、スタイルシートをはじめダイナミックHTMLやアクティブチャンネルといった最新テクノロジーもサポートされた。

サイト管理はすべておまかせ

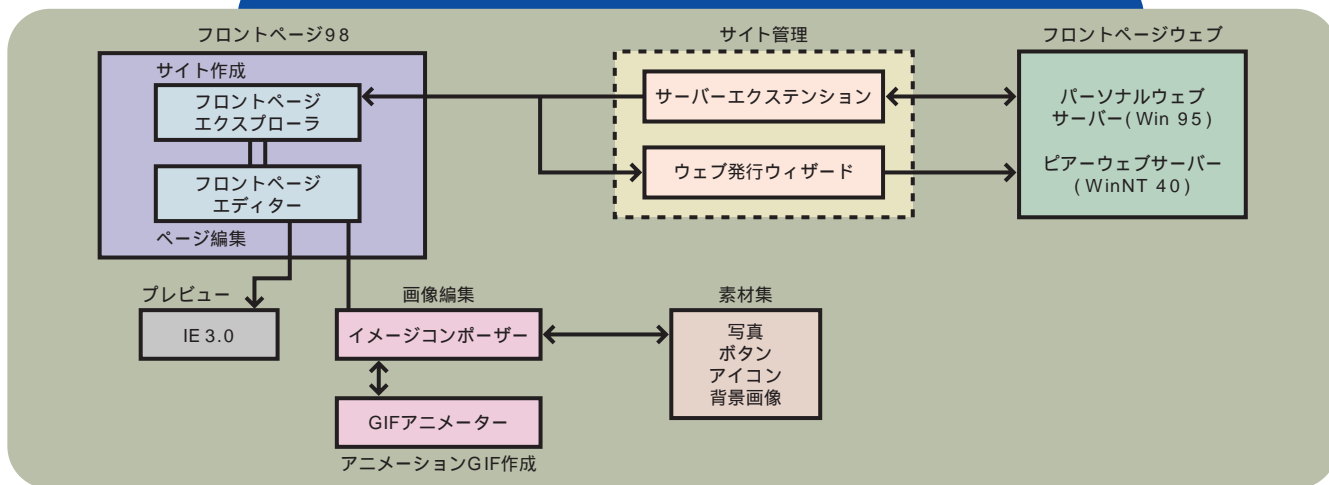
ウェブサイトは、ページの作成が完了しても、作業がすべて終わったわけではない。画像ファイルなどがそろっているか、リンクが正しく設定されているかをチェックして、サーバーにすべてのファイルをアップロード。さらに、定期的な更新もしなければならない。

編集機能だけでなくサイト管理機能も備えているフロントページ98なら、ウェブサイトのメンテナンスも安心だ。リンクをグラフィカルにチェックでき、ファイルのアップロードはマウスボタンをクリックするだけ。しかも更新する際には、情報が書き替えられたファイルだけをアップロードしてくれる。また、場合によっては、サイト内のディレクトリー（フォルダー）構造を変えなければならないことがある。フロントページ98は、ディレクトリーに合わせて自動的にリンクの設定を変更してくれる。

これだけのツールが1パッケージに

フロントページ98は、サイト管理をする「フロントページ98エクスプローラ」と、ページ編集をする「フロントページ98エディター」の2つのプログラムで構成されている。フロントページ98には、このほか画像編集ソフト「イメージコンポーザー」、アニメーションGIF作成ソフト「GIFアニメーター」、インターネットエクスプローラ3.0とウェブサーバー「フロントページパーソナルサーバー」がバンドルされている。フロントページパーソナルサーバーは、コンピュータ内でウェブサイトの動作を確認するためのものだが、小規模な個人サーバーとして公開用に使うことも可能だ。すなわちフロントページ98があれば、ウェブページの作成からウェブサイトの作成、管理、さらにサーバー上でのウェブコンテンツの動作チェックまで、WWWに関するあらゆる作業を処理できるのだ。

+フロントページ98の構成+



情報を積極的に送り出すアクティブチャンネル

ホームページの新しい配信方法

この連載はフロントページ98を使って自分のホームページを「アクティブチャンネル」のコンテンツにしてしまおうというのが目的だ。登場したばかりのこの新しいメディアについてまだよく知らない人もいるかもしれない。アクティブチャンネルとは何か、作成に必要なものは何か、これらをまとめておさらいしておこう。

誰にでもできる「アクティブチャンネル」

インターネットエクスプローラ4.0の大きな特徴の1つに、プッシュ型の技術を利用した「アクティブチャンネル」がある。一般のユーザーにとってプッシュ型の情報配信は「受信」するだけのものと考えがちだ。しかし、アクティブチャンネルの配信に特別なサーバーは必要ない。つまり、誰でもチャンネル配信できるのだ。しかも今あるウェブページをそのまま利用できる。

フロントページ98なら、ウィザードの質問に答えていくだけで好きなページを簡単にアクティブチャンネルに変えられる。定期的に更新する情報ページなどを社内で回覧したり日記を公開しているホームページを配信したりと、使い道はいくらでもある。

ホームページから情報を放送する「ウェブキャスト」

通常、WWWでは、ブラウザからURLを指定して、サーバーに必要な情報を要求する。サーバーから情報を引き出すことから、これを「プル型」情報配信という。一方、あらかじめ必要な情報と配信スケジュールを設定しておく、設定した条件に基づいてサーバーから自動的に更新情報が送られてくる方式がある。これがいま注目されている「プッシュ型」情報配信で、配信される情報のまとまりを「チャンネル」という。

マイクロソフト社は、このプッシュ型情報配信を「ウェブキャスト」と呼び、さらに「基本的なウェブキャスト」と「管理されたウェブキャスト」の2つのタイプに分類している。

「基本的な～」は「スマートプル型」ともいえる。インターネットエクスプローラ4.0では「お気に入り」メニューから「購読項目」「購読」と順番に選ぶと、そのとき表示されていたページをダウンロードしたり、更新チェックをしたりできる。この仕組みは「オートパイロット

ソフト」と呼ばれているものと同じで、ネットスケープ社のネットキャスターも基本的には同じ方式を利用している。

ホームページをウィザードでチャンネルに変換

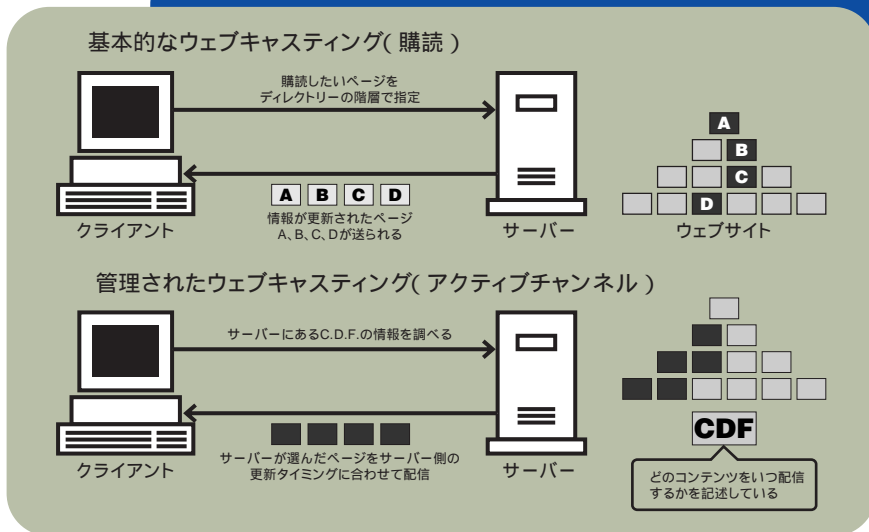
「購読」は、ダイアルアップ接続ユーザーにとって便利な方式だが、問題は不要な情報ページまでダウンロードしてしまうこと。プッシュしてもらった情報は、ディレクトリーの階層の深さで指定するが、サイトの構造は情報をダウンロードしてみるまで分からないからだ。また、利用者が設定する更新スケジュールは、必ずしもチャンネル情報の更新スケジュールと一致しない。

こうした問題を解消するのが、「管理されたウェブキャスト」。このタイプでは、情報発信者はディレクトリーの階層とは無関係に任意の情報ページをアクティブチャンネルに設定

できる。一方、ユーザーは情報をダウンロードする前にその概要が分かる仕組みになっている。興味ある情報だけがプッシュされ、不要な情報ページまでダウンロードしてしまう心配はない。

このように、既存のウェブページをそのままチャンネルとして利用できるのが、アクティブチャンネルの特徴だ。ただし、どのページをチャンネルとして使うかを設定するファイルが必要で、これを「CDF（チャンネル定義フォーマット）ファイル」という。CDFファイルには、チャンネル名やチャンネルとして使うページのURL、情報の概要、更新スケジュール、そしてチャンネルの購読ボタンを付けるページのURLが記述されている。CDFはテキストで記述されているが、書式を覚えて手で入力するのは面倒くさい。フロントページ98を使えば、この手間のかかる設定がウィザードでできる。

+購読とアクティブチャンネルはここが違う!+



先にも述べたように、フロントページ98はページの作成からウェブサイトの管理、チャンネル定義ファイルの作成、サーバーへの発行などを一手に引き受けてくれる。ここでは、これらの手順を具体的に解説しよう。数々の工程を見ていると大変な作業に思えるかもしれないが、それを簡単に行えるのがフロントページ98なのだ。

Active Channel

こうやってアクティブチャンネルは作られる

ウェブの作成からサーバーへの発行まで

1 フロントページウェブの作成

フロントページ98の工程は「フロントページウェブ」と呼ばれるサイト全体を束ねるフォルダーを作成することから始まる。

ここでは3つの選択肢があり、「ウィザードまたはテンプレート」を選べば、あらかじめ設定されているパターンを元に手軽にホームページを作れる。ゼロから自力で作る場合は「1つのページで構成されるウェブ」を選ぶ。作成済みのウェブページを使いたい場合は、「既存のウェブをインポートする」を選ぶ。自分のハードディスクやネットワーク上の共有ディスク、インターネット上のウェブサイトからそれぞれインポート可能だ。

2 各ページの作成

フロントページエクスプローラで、作成したいページを選んでダブルクリックすると、フロントページエディターが起動。指定したページのファイルが開く。操作は、ワープロソフトなどとそれほど変わらない。

3 追加ページの作成

新しいページを追加するには、フロントページエクスプローラではツールバーの「新しいページ」をクリックする。一方、フロントページエディターでは、テンプレートを利用して新しいページを作ることができる。空白ページをはじめ、2段組み、3段組みやメニュー付きなど26種類のテンプレートが用意されている。

4 リンクのチェック

フロントページウェブのページをひとつおり作り終わったら、フロントページエクスプローラでリンクの設定が間違っていないかどうか、必要なファイルがそろっているかどうかをチ

ックする。

フロントページエクスプローラの左側に並んだ7つのアイコンから「すべてのファイル」または「ハイパーリンク」を選べば、フロントページウェブ内のリンクをチェックできる。また「ハイパーリンクの状態」を選べば、外へのリンクが有効かどうかをチェックすることも可能だ。

5 CDFファイルの生成

フロントページウェブ内の一部のページまたは全ページを「アクティブチャンネル」にするために、CDFファイルを作成する。フロントページエクスプローラの「ツール」メニューから「チャンネルの定義」を選択すれば、ウィザードを使ってこの設定ができる。質問に答えて購読ボタンを貼り付けるページやチャンネルに設定するページなどを指定し、情報の更新間隔を設定すれば、自動的にCDFファイルが作られる。

6 WWWブラウザで動作確認

WWWブラウザでの動作チェックも欠かせない。特にアクティブチャンネルがしっかり機

能するかは確認しておこう。

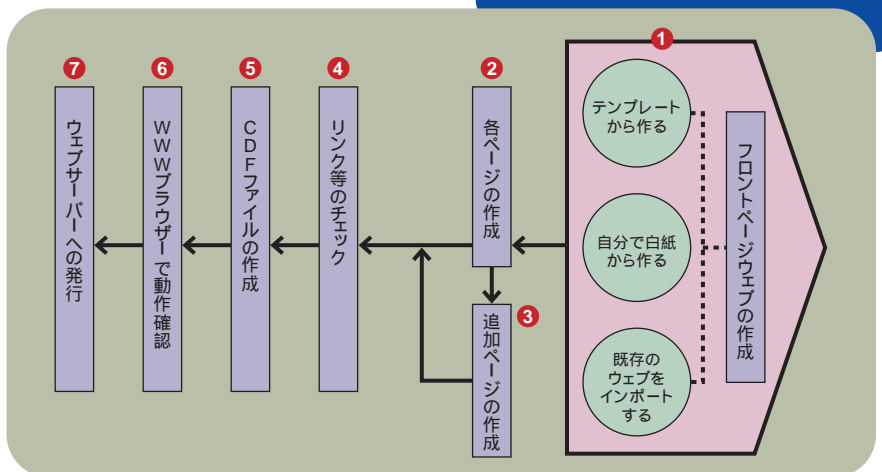
フロントページ98をインストールすると、同時にパーソナルウェブサーバーがインストールされる。この機能を使えば、ローカルであたかもインターネットに接続しているような状況を再現できる。

7 ウェブサーバーへの発行

最後は、ウェブサーバーへのアップロードだ。フロントページウェブをサーバーに発行するには、フロントページエクスプローラのツールバーにある「発行」を押すだけだ。ただし、これはサーバーに「サーバーエクステンション」がインストールされている場合。インストールされていない場合は、「発行」を押すと「ウェブ発行ウィザード」が起動してFTPサーバーへのアップロードが始まる。

👉 いよいよ次のページから作成編だ。第1回の今月はStep 1 からStep 2の最初の手順までを解説しよう。

+ 作成から発行までの +
7つのステップ





+ 作成編 +

1st Step

お手軽にフロントページウェブを作る

ウィザード、テンプレート、テーマを使おう

いよいよ、お待ちかねの作成編のスタートだ。でも、いきなりアクティブチャンネルというわけにはいかない。前ページで解説したStep ⑤の「CDF」作成の前に、配信するコンテンツであるホームページを作ろう。フロントページ98では、最初に「フロントページウェブ」を作る。これがアクティブチャンネル完成へのファーストステップだ。

1

「新しいFrontPage Webを作成する」

フロントページウェブを新しく作るには、最初に出てくるウィンドウで「新しいFrontPage Webを作成する」を選択して「OK」を押す。表示されたダイアログで、作成するフロントページウェブの種類とタイトルを決める。ここでは、最も手軽にホームページが作れる「ウィザードまたはテンプレート」を選ぼう。ウィザードとテンプレートは、次の6種類が用意されている。

6つの中にはかなり本格的なものもあるが、ここではもっともシンプルな「パーソナルWeb」テンプレートを使うことにしよう。テンプレートを選んだら、次はフロントページウェブのタイトルだ。この名前は、フロントページウェブのデータを保存するフォルダー名としても使われる。好きな名前を入力して「OK」をクリックすると、テンプレートの設定に従って新しいフロントページウェブが作られる。

ディスカッションWeb ウィザード: ウェブ版の掲示板を作る。質問に答えていけば、スレ

ッド表示や目次、全文検索の機能を備えた掲示板を簡単に作れる。

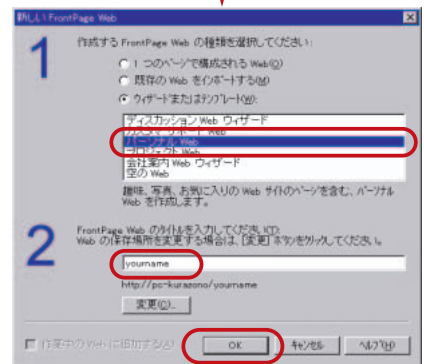
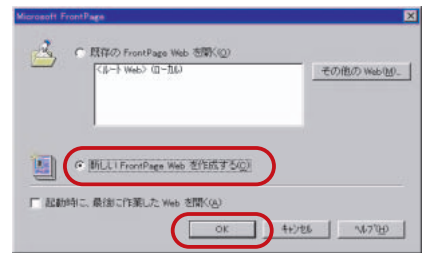
カスタマサポートWeb: カスタマサポート用ページのテンプレート。主にソフトウェア会社向けで、FAQやダウンロード、検索などのページで構成されている。

パーソナルWeb: 個人用のごく小さなホームページ用のテンプレート。トップページの下に、お気に入りサイト紹介や趣味、フォトアルバムなどのページがある。

プロジェクトWeb: プロジェクト管理用ページのテンプレートだ。プロジェクトメンバー一覧や進捗状況、スケジュール、電子掲示板などのページが用意されている。

会社案内Web ウィザード: 最新ニュースや製品、サービス情報ページなどで構成される企業ページ用ウィザード。アンケートや全文検索ページを加えることもできる。

空のWeb: テンプレートを使わずに、フロントページウェブをゼロから作る。

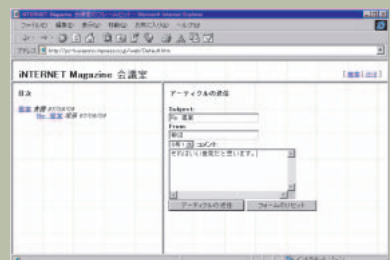


タイトルを記入して「OK」を押せば、フロントページウェブが作成される

+ディスカッションWebとサーバーエクステンション+

「ディスカッションWeb ウィザード」を使うと、ウェブページ上で記事を投稿したり意見を述べたりする「掲示板」が作成できる。非常に魅力的なページだけにすぐにでも使いたいところだが、ちょっと待った。実は、フロントページ98で作成できるさまざまな仕掛けの中には、サーバー側に「サーバーエクステンション」というプログラムがセットアップされていないと動作しないものがある。フロントページ98ベータ版にはウィンドウズNTと

UNIX用のサーバーエクステンションが含まれているが、現時点ではこれをセットアップしているプロバイダーは少ないはずだ。ウェブ掲示板もサーバーエクステンションが必要のために、サーバーにアップロードしたとたんに動かなくなる可能性が高い。はやる気持ちを抑えて、製品版の発売後にプロバイダーがフロントページ98サーバーエクステンションを導入してくれるのを待とう。



ディスカッションWeb ウィザードで作成したウェブ掲示板

2

7つのビューを使い分ける

フロントページエクスプローラのウィンドウ右側に、作成したばかりのフロントページウェブが表示される。フロントページウェブの7つの表示方法はウィンドウ左側のビューバーで変更できる。

ナビゲーションビュー：上段がページ構成のツリー表示、下段がフロントページウェブ内のファイルとフォルダーの一覧表示。

フォルダービュー：フロントページウェブを構成するファイルやフォルダーを表示。

すべてのファイルビュー：HTMLファイルや画像ファイルなどフロントページウェブのコンテンツだけを表示。

ハイパーリンクビュー：フロントページ内のリンクを表示。

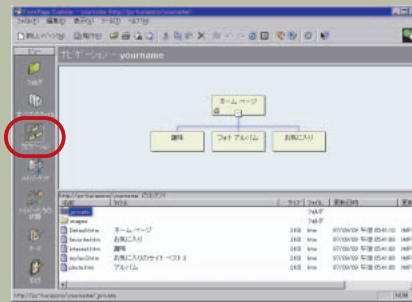
ハイパーリンクの状態ビュー：フロントページウェブ外へのリンクを表示。

テーマビュー：後述の「テーマ」の設定や変更をするときに使う。

タスクビュー：完成までに必要な作業を「タスク」として登録でき、その作業が完了したかどうかをチェックできる。

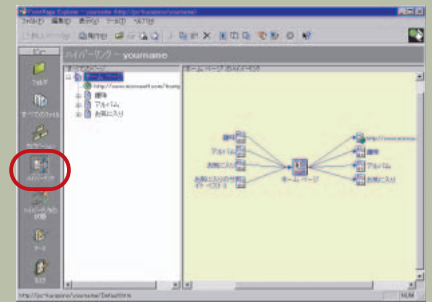


ナビゲーションビュー



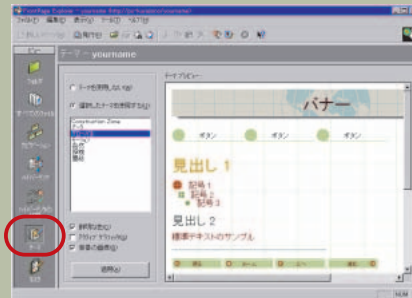
前バージョンにはなかったビューだ。ページ全体の構造を表している

ハイパーリンクビュー



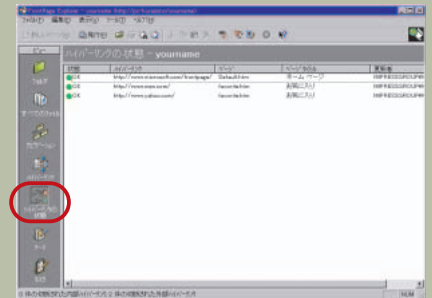
ウェブ内のリンクが切れているとページを結ぶ線が切断されたように表示される

テーマビュー



次に解説する「テーマ」はここで決める。テーマを選んで「適用」を押せばいい。

ハイパーリンクの状態ビュー



外のサイトへのリンクが正常なら「OK」が、切れていると「切断」が表示される

3

7つのテーマから好きなものを選ぶ

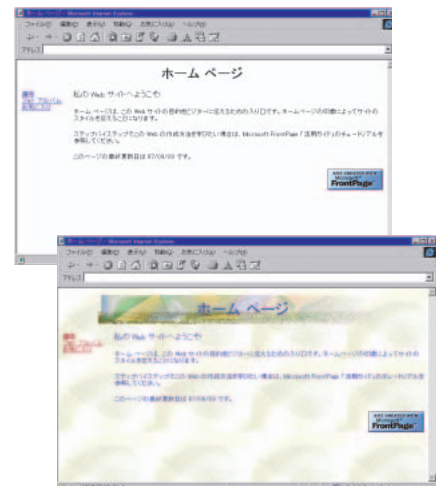
テンプレートを決めた段階で必要最小限のページが作られ、フロントページウェブ内のリンクも設定される。あとは各ページの編集……とその前にもう1つやっておかなければならないことがある。「テーマ」の設定だ。

カッコいいデザインのページを作りたい。誰でもそう考えるが、忘れがちなのがホームページ全体の統一感。個々のページのできがよくても、各ページのデザインがバラバラだとアクセスしたときの印象がよくない。こうした問題を解決してくれるのが「テーマ」だ。フロントページには7種類のテーマが用意され、それぞれ特徴ある色使いが設定されている。

ビューバーから「テーマ」を選ぶと、ウィン

ドウ左側に設定条件やテーマの種類、右側には選択したテーマのプレビューが表示される。テーマを選ぶと、文字やボタン、リストの項目名に付く記号や水平罫線、ページの背景に、それぞれ固有の色使いが設定される。テーマなしの設定も、もちろん可能だ。「Construction Zone」、「アーク」、「グローバル」など、プレビューを見て気に入ったものに決めよう。

ここまで終われば、フロントページウェブ全般の設定は完了。次は各ページの作成だ。ナビゲーションビューで編集したいページをダブルクリックすると、フロントページ98エディターが起動する。



テーマを適用していないページ(上)と適用したページ(下)ではこんなに見栄えが違う。もちろん、テーマが気に入らなければ、自分でデザインすることもできる。



+ 作成編 +

2nd Step

マイホームページを作る(その1)

共有枠の使い方をマスターしよう

フロントページ98で作る初めてのフロントページウェブは、テンプレートに「パーソナルWeb」を使い、テーマに「探検」を設定した。「ホームページ」と名前が付けられたこのトップページを、フロントページ98エディターで開くと.....なんと、ほとんどできあがっている。あとは、文章を入れ替えるだけでトップページは完成だ。

1

共有枠でページからページへ

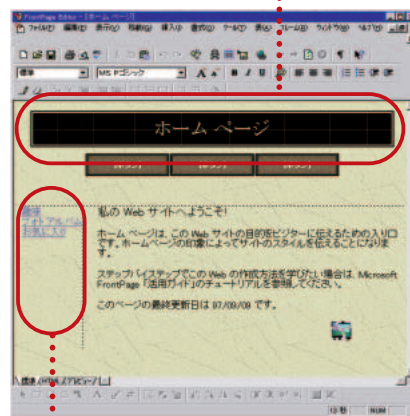
他のページを見ると分かるが、文字やパナー、ボタンの色使いが統一されている。設定したテーマ「探検」に基づいて決められているのだ。テーマに加えて、フロントページウェブ全体に統一性を持たせているもう1つの重要な要素が「共有枠」だ。トップページの編集をする前に、この共有枠について説明しておこう。

トップページには、2つの共有枠が設定されている。1つはページ上部のパナーがある部分、もう1つが他のページへのリンクが設定されている左側の部分だ。共有枠はフロントページウェブ

内の全ページに設定され、デザイン面での一貫感をもたらすだけでなく、それぞれのページを移動する際の操作性を高めるうえでも効果的だ。

共有枠は、フロントページ98で利用できる「コンポーネント」の1つで、フロントページウェブを作成すると自動的に生成される。初期設定ではページ上部と左側の2か所。上部の共有枠にはパナーとナビゲーションバー（ほかのページに移動するためのボタンが並んだもの）、左側にはナビゲーションバーだけが配置される。

共有枠1
パナーナビゲーションバー



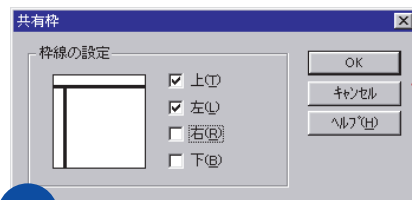
共有枠2
ナビゲーションバー

2

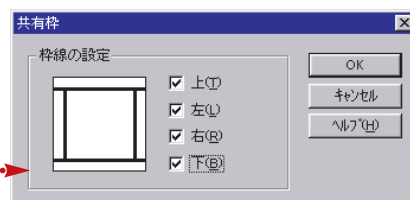
共有枠の数と配置、名前を変える

共有枠は数や配置を自由に変更できる。ウェブ全体の設定をするには、フロントページエクスプローラの「ツール」メニューから「共有枠」を選び、「共有枠設定ダイアログ」の上下左右にチェックを付ける(図 a)。特定のページだけ設定を変える場合は、フロントページエディターの「ツール」メニューから「共有枠」を選択すればいい。

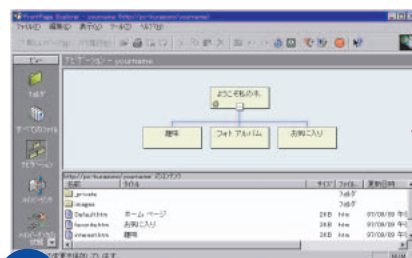
パナーやボタンに表示される文字の変更はフロントページエクスプローラで行う。ここでいったんフロントページエクスプローラに戻り、「ナビゲーションビュー」を表示する。変更したいページにマウスカーソルを合わせて、右ボタンをクリック。表示されたメニューから、「名前の変更」を選ぶ。ラベルが反転表示されるので、新しい名前を入力する(図 b)。これでラベル変更完了。フロントページエディターに移ると、修正した名前が変わっているはずだ。



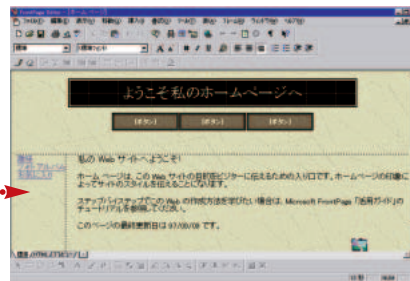
a 標準の設定は「上」と「下」になっている



チェックの付け方で数と配置が決まる



b 「ホームページ」の部分をクリックして「名前の変更」を選び、好きな文字に変更してみよう



フロントページエディターで表示させると、共有枠のパナーの部分の名前が変わっている。ほかのページも同様に変更できる

3

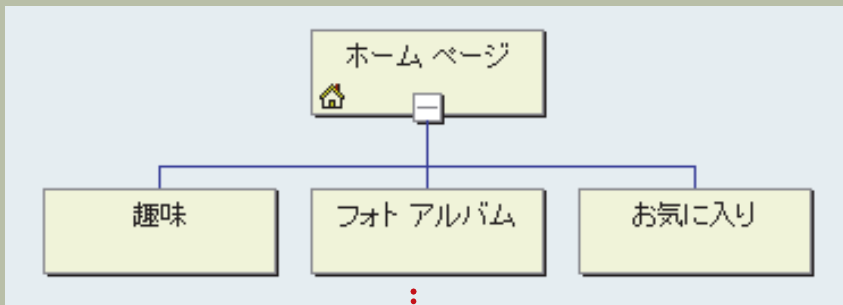
共有枠のレベルを理解しよう

共有枠内のバナーやナビゲーションバーの設定も変更できる。バナーを変更するときは、バナーにマウスカーソルを合わせてダブルクリック。表示された「ページバナーのプロパティ」ダイアログで、バナーに画像を使うか使わないかを設定できる。また、ナビゲーションバーを変更するときは、ナビゲーションバーにマウスカーソルを合わせてダブルクリックする。表示された「ナビゲーションバーのプロパティ」ダイアログでは、ボタンに割り当てるページのレベルや並べる方向などを設定できる。

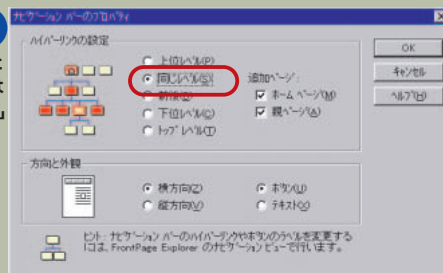
上部のナビゲーションバーのプロパティを見ると、「ハイパーリンクの設定」は「同じレベル」がチェックされている（図 a）。今、フロントページエディターに表示されているのは、フロントページウェブ最上位にある「ホームページ」。同じレベルには別のページがないから、バーに並んだ各ボタンには特定の名前が付かず、単に「[ボタン]」となっている。これに対して「趣味」ページをフロントページ98エディターで開くと、バーに並ぶボタンには「フォトアルバム」や「お気に入り」といった名前が付いている。「趣味」と同じレベルに、これらのページが配置されているからだ。

一方、左側のナビゲーションバーのプロパティを見ると、「ハイパーリンクの設定」は「下位レベル」がチェックされている（図 b）。作業中のフロントページウェブで下位レベルにページを持っているのは、「ホームページ」だけだ。そこで左側の共有枠のボタンだけに名前が付くのは「ホームページ」だけで、残りのページには単に「[ボタン]」としか表示されないのだ。

ナビゲーションビューの構造

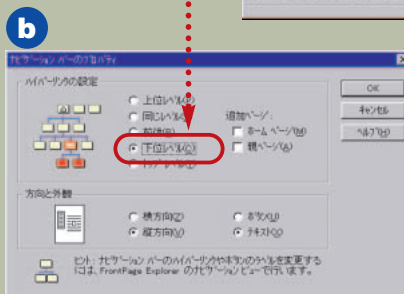
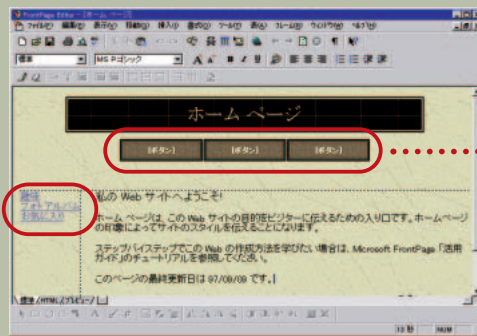


ナビゲーションビューに表示されているとおり、トップページと「同じレベル」には別のページはないため、共有枠の「ボタン」には名前がない。



ナビゲーションバー(上)をダブルクリック

ナビゲーションバー(左)をダブルクリック



ナビゲーションビューに表示されているとおり、「下位レベル」には「趣味」、「フォトアルバム」、「お気に入り」のページがあるため、共有枠に名前が付いている。

+ 次回予告 +

といったところで第1回は終了。次回は文章や画像をオリジナルのものに代えて、新しいページを追加して必要なリンクなどを設定する。フロントページ98は、ダイナミックHTMLを使って文字をアニメーションさせる機能など

を備えている。こうした機能も取り入れて作成したフロントページウェブを、ウェブサーバーに発行するまでの手順を解説する。なお、フロントページ98については3回にわたって短期連載の予定だ。今後、このソフトが持つ先進

的な機能を、具体的にフロントページウェブを作成しながら紹介すると同時に、バンドルされるグラフィックツール「イメージコンポーザー」についても触れる予定だ。それでは、来月号をお楽しみに！



[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社インプレスR&D

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp